



しゃきょう

8月号 第166号

社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



第17回「福祉まつり」に

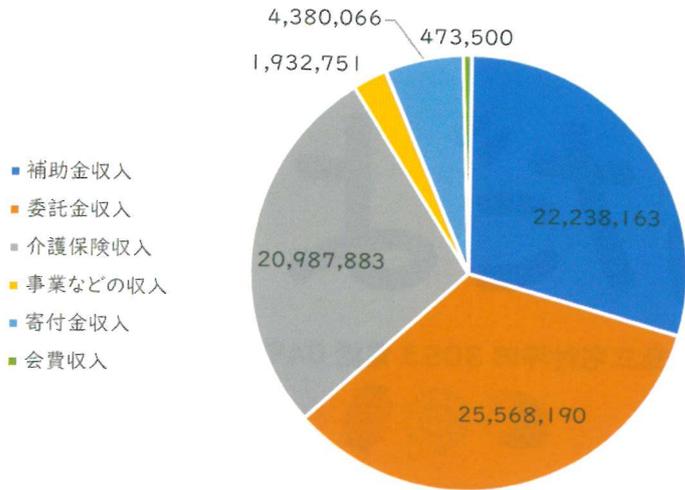
シンガーソングライター 牛来美佳(ごらいみか)さん出演!



想いを伝え続ける人でありたい…

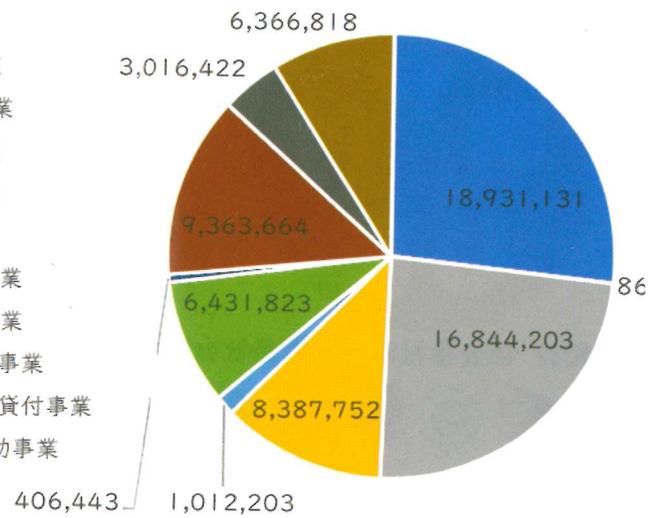
2011.3.11 東日本大震災により生じた原発事故後、福島県浪江町にあった居住先が強制退去となり被災。故郷を離れ避難によって群馬県にたどり着いた。“歌で伝え続けていく”そう決めたのは失ったたくさんのモノたちが教えてくれたこと。そう誓ったあの日から走り出した想いはひとりひとりの心に届ける歌声となった。そんな歌声を三宅島に届けてくれます。詳細は次月(9月号)にて掲載いたします。

平成 30 年度三宅島社会福祉協議会決算報告



収入合計 ¥75,580,553

- 介護保険事業
- たすけあい事業
- 組織運営事業
- 地域福祉事業
- 広報事業
- 高齢者福祉事業
- ボランティア事業
- 障がい者福祉事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 福祉S利用援助事業



支出合計 ¥70,761,323

平成 30 年度三宅島社会福祉協議会事業総括

平成 30 年度は三宅島社会福祉協議会にとり、法人化 50 周年の節目の年となりました。9 月には記念式典を行い、村長はじめ多くの来賓の方々や関係者の方々、村民の皆さまにもご出席いただきました。また、社協事務所も 4 月に阿古から坪田へと移転し、環境も大きく変化した 1 年となりました。

30 年度の事業報告を端的に申し上げると、各機関と連携しながら役割を分担し、本人を支えていくことが大切な課題としてクローズアップされた 1 年と言えます。少し具体的に申し上げますと、認知症の方、終末期を迎えた方、障がいのある方等、今まで家族や地域で支えられていた方々が支援者も含めたご本人の状況などがある限界点に達した時、この島での生活を継続することが困難になる課題が生じます。今後の生活を支えていく課題とは何かを関係者と話し合いました。

いずれも個別性が非常に高いため、支援の方向性も絶えず変化し、それに対応する柔軟性が私たちに求められます。同時に離島であることや福祉資源の限られる中では、役割や立場を超えたアイデアや実践が求められていることを痛感しました。

その都度専門職(医師・保健師・弁護士など)地域の支援者(民生委員・親族・駐在など)行政(役場・支庁)そして福祉関係機関(地域包括支援センター・あじさいの里・ケアマネージャー・シルバー人材センターなど)が集まり、会議を行いながら支援の方向性を探り、役割を認識しました。「どうしたら本人の意向を大切にしながら島での暮らしを支えていくのか」「そのために大切な支援の目標とは何か」を。

厚生労働省は「今後は高齢者に限定していた地域包括システムを全世代・全対象型地域支援」に拡大することを提唱しており、高齢者・障がい者・児童・生活困窮者といった別なく地域に暮らす住民誰もがその人の状況にあった支援が受けられるという新しい包括的な地域支援体制の構築を求めています。

このことはそれぞれの地域の実体と特性に合わせた連携と共存の道を探ることの必要性をわたしたち社協にも求めているという良いでしょう。三宅村という地域の中で、その人らしさを失わずにどのように支えていくのか、今後とも関係機関と連携し、地域福祉の推進に貢献してまいります。

1.地域福祉事業

地域福祉事業での主な活動内容は「三宅島福祉まつり」「ふくしバザー」「介護用品の販売」「福祉用具のレンタル」「通院送迎サービス」「住民活動への助成金」となっております。第 16 回三宅島福祉まつりを実施しました。「ふれあい」「参加」をテーマとし地域住民の交流を深める機会をつくり、地域福祉の啓発及び推進を目的に関係機関と協力して開催しました。また、法人化 50 周年記念式典も同日開催しました。今年度より三宅村高齢者おむつ代等助成事業の受託に伴い、対象者の申請手続きなどの事務的支援を担う事で購入者の利便性の向上に努めました。

2.広報事業

島内に在住されている高齢者の方の人生に焦点を当てたインタビュー記事「マイ・ストーリー」の掲載など、魅力のある紙面作成に努めました。

3.高齢者福祉事業

平成 30 年度、三宅村より2つの事業（三宅村高齢者おむつ代等助成事業及び三宅村高齢者日常用具等助成事業）を受託しました。他には高齢者ふれあい会食会を毎月実施。四季折々の風物を感じられる企画を実施しました。その他「三宅島老人クラブ連合会」の再開。2000 年の噴火による一斉避難で休会となっていた 5 地区連合クラブの再開準備と事務局運営を担いました。

4.ボランティア事業

支え合う福祉の輪「かめりあ」事業として包括支援センターや三宅村福祉健康課の協力を得て「男性のための料理教室」を 4 回実施しました。

5.障がい者福祉事業

利用者の高齢化により、在宅生活を維持・継続するための在宅福祉サービスの必要性が課題となりました。対策のひとつとして、島内外の障がい者福祉サービスを受けられるよう区分認定調査を三宅村福祉健康課に実施してもらいました。また独居の方へは服薬管理、保清などや社会生活全般含め細やかな支援を行いました。

6.福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者をはじめ判断能力が十分でない方を対象とした、地域福祉権利擁護事業と緊急一時事務管理を行っております。相談件数は大幅に増加し、様々な課題に対応いたしました。弁護士などの専門家や三宅村役場など関係機関と連携し、ご本人の尊厳を大切にされた支援をいたしました。

7.介護保険事業

ご利用者ひとりひとりのニーズや状況変化に対応した支援を行いました。増加する認知症利用者への支援や終末期を迎えた方の支援など幅広い業務や専門的な判断を担う事も増えており、ヘルパー個々の支援技術の向上に努めました。

ちけん通信

Vol.4「ちけん」について詳しく教えて!

ちけん（地権）のサービスって
どんなことをしてくれるの？

地権担当のヤナガワです。

今回は「ちけん（地権）」についてお話しますね！ちけんでは物忘れや身の回りの不安の相談にのったり、心配ごと解消のための手続きなどの同行や代行といったお手伝いを行っています！通帳や印鑑、証書など大切な書類の保管なども行っています！



誰にも知られたくない事を相談しても
色々な人に言わないでもらえるの？

ご相談いただいた内容については、誰にも話しません！ご家族の方や役場の方などに説明する必要がある時でも、ご本人の許可なしに他の方へ伝えることはありませんので、安心してください！



ちけんサービスを受けるには
お金がかかるの？

契約を交わす前までのご相談は無料です。契約後のお手伝などは、1時間当たり1,000円頂いています。ただ、この金額が支払えない！という方でも色々な方法がありますので、声をかけてくださいね！



ちけんサービスを受けるには条件とか
あるのかな？

ちけんは主に在宅生活している高齢者の方や知的障がいをお持ちの方、精神障がいをお持ちの方で日々の生活に不安がある方を対象としています。それ以外に条件などはありません！本人が安心できる場所で暮らせるように支援をさせてもらうことが私、ヤナガワのお仕事です！もちろん、入院中の方や施設で生活されている方のところにも伺います！



ちけんサービスを受けたいときには
どうしたらいいの？



イラスト：倉橋達治

もし、ちけんのサービスに興味がある、こんな事相談してもいい？というかたは、三宅島社会福祉協議会ヤナガワまでご連絡ください！落ち着く場所でたっぷり私にお話を聞かせてください。そして、一緒にどのようにしていけばいいのか考えさせてください。ひとりで悩まずに、私にも一緒に考えさせてください。解決に向けて一歩ずつ進んでいけると思います！



「地権（ちけん）」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当：柳川（やながわ）【直通 8-5883】まで！

8月・9月の会食会はおやすみとなります！10月元気なお顔でお会いしましょう★

認知症・転倒予防のための木曜サロン

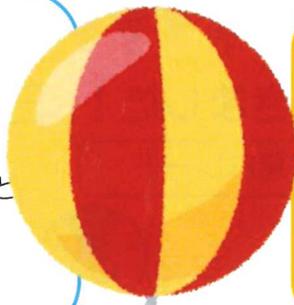
日 時：毎週木曜日 9：30～13：30

場 所：神着老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：めぐりケアセンター（前田）

☎090-2655-1529



坪田常盤クラブ（月曜サロン）

日 時：毎週月曜日 9：00～11：30

場 所：坪田福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手
などなど

問 合：堀井副会長 ☎090-4541-9277

認知症・転倒予防のための阿古サロン

日 時：毎月第1・3火曜日 9：30～11：45

場 所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター ☎5-1832

ボ ラ ン テ ィ ア 情 報

社協 福祉まつり

日 時：9月21日（土）

場 所：リスタホール・三宅村社会福祉会館

内 容：会場設営・交通整理などなど

問 合：社協 ☎8-5888

★事前準備のボランティアさんも募集しています！

認知症・転倒予防のための伊豆サロン

日 時：毎月第2・4水曜日

10：00～13：15

場 所：伊豆老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター ☎5-1832

ボランティアへのご参加
おまちしております！



三宅島社協では、ボランティアを必要とする個人・団体などからの相談・受付をしております。また島内でボランティア活動を行う方につきましてはボランティア保険料の一部助成を行っています。お気軽にご連絡ください。

障がい福祉

いぶきだより

開所日時：月・水・木（10：00～15：00）

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です！



8月のいぶき活動



【緑化活動】8月7・14・21・26・28日（全水曜日）

【外出支援】8月15日

毎月1度の工賃支給日に島内の商店で買い物をします！

島外学習に行ってきました！

6月25日から神津島に島外学習へ行ってきました！詳細は来月（9月）号に掲載しますのでお楽しみに！！今月号は島外学習の様子をちらりと紹介します！



5月の上京でこんな活動をしてきました！ 三宅島民生児童委員協議会

1日目 5月12日（日） 活動普及・啓発パレード



◎約 1,700 人で歩きました！

◎三宅島民生児童委員協議会 14 名参加（御蔵島・事務局含む）

2日目 5月13日（月） 島しょ民生児童委員連絡協議会（研修）



◎講義「島しょ地域の課題と向き合う」 講師：駒沢大学教授 川上富雄氏

3日目 5月14日（火） 施設見学①

4日目 5月15日（水） 施設見学②



◎医療法人 石和温泉病院

◎児童養護施設 めだかの学校・ジュニア

◎社会福祉法人 ひかりの里

もっともっとお話したかったです。

斉藤副部長、ごめんなさい！

生徒達は学校でいみせませんが、

幡野施設長の熱い思いには胸を打たれました！

施設長の山田さんの優しい気持ち

施設内いっばいに漂っていました！

活用できる「社会資源」・・・民生児童委員



石和温泉駅ホームのバラの花をバックにして

私たちの周囲にはさまざまな「社会資源」がある。社会福祉制度もその資源のひとつと言える◆時代と共にその制度も充実してきたが、支援を求める「声を出せない人」「声を出さない人」がまだまだ大勢いる◆そうした人々を発見し、公的な福祉制度につなぐことができるのも、日ごろから自らの担当地区を歩き、訪問活動を重ねている民生児童委員だからこそ◆その「つなぎ役」である「民生児童委員」の名を「社会資源」のひとつとして確実に位置づけられるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

ちいき けいじばん 地域の掲示板

三宅島巨樹の会「やどり木」会員募集！

三宅島は度重なる噴火にも耐えた素晴らしい巨樹を身近に見ることができる東京に1番近い島です。巨樹観察会・調査会・植樹会などで三宅島の巨樹と一緒に楽しんでみませんか？「やどり木」では島民・全国から会員をいつでも募集しております！

年会費 一口500円

問合せ 090-6875-5627 佐久間

坪田地区ビーチクリーンクラブ ～釜方海岸ビーチクリーンのご案内～

集合場所 釜方天草倉庫前集合（空港下）

日時 令和元年8月3日（土）8：30～

主催 坪田ビーチクリーンクラブ

※軍手・ごみ袋はクラブで用意致します！
※雨天の場合は中止となります！

あの頃吹いたハモニカをもう1度楽しみませんか？

三宅島ハモニカサークル

三宅島ハモニカサークルではハモニカと一緒に楽しむメンバーを募集しています！地区ごとに練習するので、初心者でも大丈夫です！音楽を楽しみたいキモチさえあれば、ハモニカサークルはあなたを歓迎します！ご連絡ください！

問合せ 090-5113-9277 堀井

三宅島椿会

三宅島椿会では新しい仲間を募集しています！ただ楽しく踊ればそれでよし！踊りが苦手でもOK！年齢、地区、なんにも問いません！踊りたいならそれでOK！愉快的な仲間と週に1回、仲良くエクササイズしてみませんか？見学いつでもOKです！

時間 第2・4水曜日19：00～

場所 坪田福祉会館（旧坪小）

問合せ 090-5399-0604 長久保

風のカフェ

（認知症等介護者のためのカフェ）

風のカフェではご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護を経験された方々のお越しをお待ちしています！また、介護を受けられているご家族の方も一緒にご参加いただけます！

日時 8月3日（土）9：00～11：30

問い合わせ 風の家 5-1470
役場 5-0904

社協だよりでは地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」としてお知らせするお手伝いをしています。掲載希望の方は社協（8-5888）までご連絡ください。

令和元年6月24日（月）に評議員会が行われ、役員就任が認められました。（任期は2年となります）

会長 寺本恒夫

副会長 津村明 北川多恵子

理事 長岡八千代 穴原甲一郎 五十嵐文子 長谷川崇 笹本容子 廣瀬芳 曾我部宏一 津村一 中村敏郎 堀康弘

監事 津村勝利 加藤民子

同日午後には理事会が開催され、会長・副会長の選任が行われました。上記役員となります。

何卒よろしく願いいたします。

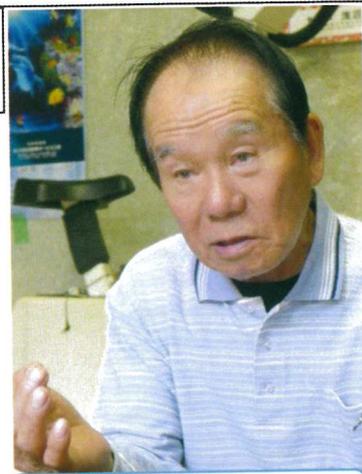
マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください。

第22回
仁平喜長さん
の物語

どんな犠牲でも島のためなら受け入れるよ。

昭和12年、9人兄弟の4番目として伊ヶ谷で生まれた仁平喜長さん81歳。父は漁師だった。母は父を支える優しい人だった。小さな頃はわんぱくで学校1のいたずら坊主だった。伊ヶ谷小学校（現伊ヶ谷コミュニティセンターの場所）に入るといたずらは加速し、先生に何度叱られたかわからない。もちろん学校も勉強も大キライだった。中学校へ入学する時は中学校が建設途中で入学からの半年間は大久保浜の漁師小屋に約70人の生徒が机とイスを並べて勉強したという。中学卒業の時に父親から「家を守るために、一緒に働いてほしい」と言われた。兄弟が多く、その上男の子が2人しかいなかったのでも、働くという選択肢しかなかった。畑の仕事もした、漁にも出た、土木の仕事もした。どんな仕事でも一生懸命働いた。その後長谷川工務店（現三宅島建設(株)）に就職し、長谷川自動車工場設立に尽力した。整備士の資格が必要となり、整備士の資格を取る。勉強や学校が嫌いだったので、この時ばかりは「勉強しておけば良かった。」と思ったという。しかし、この時も苦難を乗り越える強さを発揮し、見事整備士の資格を取得する。整備士として働くようになってからも苦難の連続だった。三宅島の為に…三宅島の建設業の為に…と一生懸命無我夢中で働いた。15年前にはダンプの荷台を上げて作業をしていた時に、荷台が急に下がってきた。すかさずかわした。ダンプの荷台の下がる音を聞き分けて助かったのだ。危機一髪だった。長年の経験が命を助けてくれたのだ。噴火の時も、島で復興作業をしている車を三宅島に入って修理した。無我夢中で頑張ったのは仕事だけではなく。三宅村消防団伊ヶ谷分団長もやった。自治会長もやった。郷土芸能保存会の会長もやった。交通安全協会の会長もやった。あげだしたらきりがなく多くのことをやった。とにかく島のためにできることは全てやろうと決めていた。「多くの人の支えや、妻の支えがなかったらできなかったよ。」と周りへの感謝も忘れない。そして80歳で長谷川修理工場を退職した。「伊ヶ谷で生まれ育ち伊ヶ谷愛がたくさんある、でも伊ヶ谷だけを良くするだけではだめだよ、島全体



伊ヶ谷在中の仁平さん

を見て自分がどうすべきか考えないと。」仁平さんのその言葉が印象的でした。こういう方たちが私たちの世代の基盤を作ってくれているのだと思うと胸が熱くなり、涙が出ました。「大変だった」なんて言わなくても、仁平さんの大きい手のひらから今までの苦難の数々が語られたような気がします。わたしたちも島のためになにができるのか、自分がどうすべきなのかを考えなければいけないと思いました。いろんな時代を教えてください方は、多くのことを犠牲にしながらも、私たちに「正しい道」を教えてくださいのだと思います。苦難を乗り越える強さと正しい道を教えてくださいのようなマイストーリーでした！急な取材にも快く受けて頂き本当にありがとうございました！私も「正しい道」見つけたいです。素敵なお人柄がにじみ出るようなマイストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました！



工作中的仁平さん

みやけしま社協だよりは5月号(163号)より「印刷工房めじろ作業所」さんで印刷・製本していただいています！

特定非営利活動法人羽ばたく会 身体障がい者の社会参加と活動の場 **印刷工房めじろ作業所**

〒182-0022 東京都調布市国領町1-3-1 調布セントラルアパート1階 TEL/042-443-1633 FAX/042-443-1632